

中部発、「グリーン物流セミナー」を開催

～鉄道・海運へのモーダルシフト推進を目指して～

中部経済産業局では、荷主企業と物流事業者が互いに知恵を出し合い連携・協働すること（パートナーシップ）により、物流部門におけるCO₂排出削減を推進する、地球環境にやさしい「グリーン物流パートナーシップ推進事業」について、関係機関等が広くご理解いただくための活動をしています。

本セミナーはその普及活動の一環として、企業の物流担当者の皆様を対象に、環境負荷が少ない、鉄道・海運へのモーダルシフトを中心に先進事例の紹介やCO₂排出原単位の少ない輸送手段への転換を図るための情報提供を目的とした「グリーン物流セミナー」を開催します。

記

- ◆日時：平成24年2月10日（金） 13時30分～（開場13時）
- ◆会場：名古屋市中区三の丸2-2-1
名古屋合同庁舎第1号館 11階共用大会議室
- ◆定員：100名（会場の都合により、定員になり次第締め切らせていただきます。）
- ◆参加料：無料
- ◆主催：中部グリーン物流パートナーシップ会議
（事務局：経済産業省中部経済産業局、国土交通省中部運輸局）
- ◆共催：国土交通省近畿運輸局
- ◆協力：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会、中部地方通運業連盟
公益社団法人鉄道貨物協会（名古屋支部）、東海北陸旅客船協会
近畿旅客船協会、大阪フェリー協会

（お問い合わせ先）

中部経済産業局 流通・サービス産業課 彦坂

担当：箕浦

電話：052-951-0597（直通）



みんなで地球にやさしい物流を

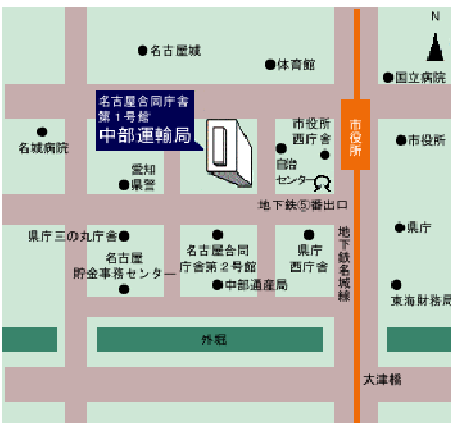
グリーン物流パートナーシップ

グリーン物流セミナー

— 鉄道・海運へのモーダルシフト推進を目指して —

物流部門におけるCO₂排出量削減策として、モーダルシフトは非常に有効な取り組みですが、なかでも鉄道や海運へのモーダルシフトは、トラック輸送に比べCO₂排出量を最大7分の1に削減することが可能とされ、グリーン物流の大きな柱のひとつとなっています。

本セミナーでは、「CO₂ 排出量削減事業」に対する補助金などの国の支援施策の説明、貨物鉄道やフェリー活用の基礎的な情報提供やモーダルシフトを実践されている企業様よりのご講演の中で、皆様にモーダルシフトについての理解を深めていただければと思いますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。



◇日時 平成24年2月10日(金) 13:30～(開場13時)

◇会場 名古屋市中区三の丸2-2-1

名古屋合同庁舎第1号館 11階共用大会議室



参加費無料
定員100名

・ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

・お申込受付期間内であっても、定員に達し次第受付を締め切らせていただきます。

・複数の方の応募があった場合には人数を調整させていただくことがありますのでご了承ください。

【主催】 中部グリーン物流パートナーシップ会議(協同事務局:経済産業省中部経済産業局、国土交通省中部運輸局)

【共催】 国土交通省近畿運輸局

【協力】 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会、中部地方通運業連盟、公益社団法人鉄道貨物協会(名古屋支部)
東海北陸旅客船協会、近畿旅客船協会、大阪フェリー協会

プログラム

第一部・講演

・「モーダルシフトを支援する国の施策」

説明: 経済産業省中部経済産業局 国土交通省中部運輸局

・「グリーンロジスティクスへの取り組み ～物流効率化と連動したモーダルシフトの推進～」

講師: アイシン精機株式会社 物流管理部輸送・荷姿管理チームリーダー 大濱 剛

・「貨物鉄道モーダルシフトの取り組み」

講師: 日本貨物鉄道株式会社東海支社 営業担当課長 寺村 裕

・「フェリー航路を活用するモーダルシフトの取り組み」

講師: 太平洋フェリー株式会社 物流営業部次長 面田 広之

講師: 株式会社名門大洋フェリー 大阪南港支店貨物営業課長 藤野 武昭

第二部・モーダルシフト相談会

・「フェリー航路の紹介」

参加フェリー会社から航路等の情報提供をいたします。

・経済産業局、運輸局が「国の支援施策」の質問にお答えします。

・鉄道・フェリー会社が鉄道・フェリー活用に関する情報や質問にお答えします。

※裏面に申込書があります

**お申込方法・
お問合せ先**

・参加お申込みは、**平成24年1月20日(金)までに本票をFAX**でお願いします。

【荷主企業様】 FAX:(052)961-9885

中部経済産業局 産業部 流通・サービス産業課 担当:箕浦・山田 (052)951-0597

【物流事業者・その他企業様】 FAX:(052)952-8087

中部運輸局 交通環境部 物流課 担当:加藤・尾嶋 (052)952-8007

参加申込票

貴社(団体)名	
お名前(お役職)	ほか 計 名
ご連絡先	ご住所
	お電話番号
	E-mail

恐れ入りますがセミナー進行の参考にさせていただきますので、以下のアンケートにお答えください。

1. モーダルシフトについて、どのようなイメージをお持ちですか？該当の番号に○をおつけください。

(複数選択可)

- ①環境負荷低減につながる。 ②コスト低減がはかれる。 ③定時運航が期待できる。
④コストが高い。 ⑤時間がかかる。 ⑥定時運航の確保(到着時間が不安定)に不安がある。
⑦その他()

2. モーダルシフト推進にあたり、ご興味のある輸送モードに、○をおつけください(複数選択可)

- ①鉄道貨物輸送 ②フェリー利用の海陸一貫輸送

3, (1) 設問2で①鉄道貨物輸送に○を付けた方はお答えください。

中部・近畿周辺から鉄道貨物輸送を利用するとすれば以下の方面への輸送が考えられますか。該当する番号に○をおつけください。(複数選択可)

- ①北海道 ②東北(日本海側) ③東北(太平洋側) ④信越 ⑤中国 ⑥四国 ⑦九州

3, (2) 設問2で②フェリー利用の海陸一貫輸送に○を付けた方はお答えください。

中部・近畿周辺から以下の地域へのフェリー航路が設定されています。ご興味のある航路の番号に、○をおつけください。

(複数選択可)

- 【東北・北海道方面】 ①仙台・苫小牧 ②小樽・新潟・秋田
【四国方面】 ①新居浜・東予(愛媛) ②徳島
【九州方面】 ①新門司(北九州) ②大分・別府 ③志布志(鹿児島) ④宮崎

4. 鉄道貨物輸送へのモーダルシフトについて、該当の番号に○をおつけください。

- ①実施済みである。(方面) ②検討したいので、具体的な説明が聞きたい。
③具体的な検討は未定だが、説明を聞きたい。 ④特に興味がない。

5. 海運へのモーダルシフトについて、該当の番号に○をおつけください。

- ①実施済みである。(航路) ②検討したいので、具体的な説明が聞きたい。
③具体的な検討は未定だが、フェリー利用について説明を聞きたい。 ④特に興味がない。

6. フェリーを利用した海陸一貫輸送サービス(※)について、該当の番号に○をおつけください。

- ①既に利用している、したことがある。(航路)
②検討したいので、具体的な説明が聞きたい。
③具体的な検討は未定だが、海陸一貫輸送サービスの利用について説明を聞きたい。
④特に興味がない。

※モーダルシフトとは…<http://www.jrfreight.co.jp/environment/modalshift.html> (参考:JR貨物ホームページ)

※海陸一貫輸送サービスとは…<http://www.taiheiyoferry.co.jp/kamotsu/system/index.html>

(参考:太平洋フェリー(株)ホームページ)

【個人情報のお取扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、本セミナーの運営管理の目的に利用させていただきます。またグリーン物流の普及・促進のために、中部グリーン物流パートナーシップ会議事務局及び各物流事業者よりご連絡を差し上げる場合がございます。予めご了承ください。